

利用料金・減免規定一覧（文化会館）

【相模原市立文化会館条例】

（利用料金）

第7条 文化会館の利用の承認を受けた者（以下「利用者」という。）は、第17条の規定により文化会館の管理を行うもの（以下「指定管理者」という。）に対し、文化会館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を納付しなければならない。

2 利用料金は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。

3 利用料金は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。

4 利用料金は、指定管理者の収入とする。

（利用料金の減免）

第8条 前条第1項の規定にかかわらず、指定管理者は、規則で定めるところにより、利用料金を減額し、又は免除することができる。

（利用料金の不還付）

第9条 既に納付された利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

別表（第7条関係）

1 ホール利用料金

（1）基本利用料金

区分			1日 (9時～22時)
大ホール	客席数1,790席の場合	平日	279,500円
		土曜日	369,200円
		日曜日	
		休日	
	客席数1,240席の場合	平日	193,700円
		土曜日	256,100円
		日曜日	
		休日	
多目的ホール		平日	35,100円
		土曜日	46,900円
		日曜日	
		休日	

備考 平日とは、土曜日、日曜日及び休日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。）以外の日をいう。

（２） 加算利用料金

ア 利用者が入場料その他これに類する料金（以下「入場料等」という。）を徴収する場合は、基本利用料金に次の表に定める率を乗じて得た額を加算する。ただし、営利を目的としない利用であって、入場料等が1,000円以下の場合は、加算しない。

区分	1人当たりの入場料等の最高額	率
大ホール	3,000円未満	40パーセント
	3,000円以上5,000円未満	60パーセント
	5,000円以上	100パーセント
多目的ホール	2,000円未満	20パーセント
	2,000円以上3,000円未満	40パーセント
	3,000円以上5,000円未満	60パーセント
	5,000円以上	100パーセント

イ 利用者が、商業宣伝その他これに類する目的のために利用する場合は、基本利用料金に150パーセントを乗じて得た額を加算する。この場合において、入場料等を徴収する場合であっても、アの規定は適用しない。

（３） 舞台のみ利用料金

催し等の準備のため、大ホールの舞台のみを利用する場合の利用料金は、基本利用料金の50パーセントに相当する額とする。

（４） 延長等に係る利用料金

利用の承認を受けた時間の延長又は繰上げの承認を得て利用する場合の当該延長又は繰上げに係る利用料金（以下「延長等に係る利用料金」という。）は、1時間につき、当該利用に係る1日の基本利用料金の額（ただし、加算利用料金の加算がある場合には、これを加算した額）に10パーセントを乗じて得た額とする。この場合において、延長又は繰上げに係る利用の承認を受けた時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とみなす。

２ リハーサル室等利用料金

（１） 基本利用料金

区分	1日 (9時～22時)
リハーサル室	21,900円
練習室	7,100円

（２） 延長等に係る利用料金

延長等に係る利用料金については、前項第4号の規定を準用する。

3 附属設備利用料金

区分		1 日 (9 時 ~ 22 時)
大ホール	楽屋 1	5,100円
	楽屋 2	3,900円
	楽屋 3	4,200円
	楽屋 4	4,200円
	楽屋 5	4,200円
	楽屋 6	4,200円
	楽屋 7	4,200円
	楽屋 8	4,200円
	楽屋 9	4,200円
	楽屋 10	13,200円
	控室 1	3,300円
多目的ホール	控室 2	6,600円
	控室 3	6,600円

備考 延長等に係る利用料金については、第 1 項第 4 号の規定を準用する。

4 器具等利用料金

(1) 大ホール器具等利用料金

種別	単位	利用料金
楽器	1 台 1 日	33,900円
舞台機構	1 式 1 日	33,900円
舞台備品	1 台又は 1 式 1 日	44,100円
照明設備	1 列、1 台又は 1 式 1 日	6,900円
音響設備	1 台、1 本又は 1 式 1 日	10,200円
その他	1 式 1 日	23,700円
持込器具使用電力料	持込器具の表示消費電力 1 キロワット 1 日	750円

備考

- 1 延長等に係る利用料金については、第 1 項第 4 号の規定を準用する。
- 2 持込器具使用電力料の利用料金を算出する基礎となる持込器具の表示消費電力の 1 キロワット未満の端数は、1 キロワットとみなす。

(2) 多目的ホール器具等利用料金

種別	単位	利用料金
備品	1 台又は 1 式 1 日	17,100円
照明設備	1 列、1 台又は 1 式 1 日	5,100円

資料 7

音響設備	1 台、1 本又は 1 式 1 日	10,200円
その他	1 式 1 日	6,900円
持込器具使用電力料	持込器具の表示消費電力 1 キロワット 1 日	750円

備考

- 1 延長等に係る利用料金については、第 1 項第 4 号の規定を準用する。
- 2 持込器具使用電力料の利用料金の算出については、前号の表備考 4 の規定を準用する。

(3) リハーサル室器具等利用料金

種別	単位	利用料金
備品	1 台又は 1 式 1 日	13,500円
音響設備	1 台、1 本又は 1 式 1 日	6,900円

備考 延長等に係る利用料金については、第 1 項第 4 号の規定を準用する。

(4) 練習室備品利用料金

備品名	単位	1 日の利用料金	備考
ピアノ	1 台	3,300円	調律料別、椅子 1 脚付き

備考 延長等に係る利用料金については、第 1 項第 4 号の規定を準用する。

【相模原市立文化会館条例施行規則】**（利用料金の後納）**

第7条 条例第7条第3項ただし書の規定により利用料金を後納することができる場合は、国又は地方公共団体が利用するときその他指定管理者が特に必要があると認めるときとする。この場合において、利用者は指定管理者が指定する期限までに利用料金を納付しなければならない。

（利用料金の減免）

第13条 条例第8条の規定による利用料金の減免は、入場料その他これに類する料金を徴収しない場合であって、次の各号に掲げるときに、当該各号に定める率により行う。

（1） 指定管理者が条例第22条の規定により行う同条第7号の事業のために利用するとき。 100パーセント

（2） 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項の規定により利用料金の減免を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に減免の申請をするものとする。

（利用料金の還付）

第14条 条例第9条ただし書の規定による既納利用料金の還付は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

（1） 災害その他利用者の責めによらない理由により利用することができなくなったとき。 既納利用料金の100パーセント

（2） 利用日の180日前までに大ホール又は多目的ホールの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の80パーセント

（3） 利用日の60日前までに大ホール又は多目的ホールの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の50パーセント

（4） 利用日の60日前までにリハーサル室又は練習室の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の80パーセント

（5） 利用日の14日前までにリハーサル室又は練習室の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の50パーセント

（6） 附属設備、器具等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の100パーセント

（7） 第10条の規定による承認事項変更の承認（大ホールの客席数変更（1,790席を仕切って1,240席にすることをいう。）の承認にあつては、利用日の7日前までに申請があつたものに限る。）により、既納利用料金が過納となったとき。 既納利用料金のうちの過納額の100パーセント

（8） 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

- 2 前項第 2 号から第 5 号まで及び第 7 号に規定する期限の末日が、休館日に当たるときは、その直後の開館日を当該期限の末日とする。
- 3 第 1 項の規定により既納使用料金の還付を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。

利用料金・減免規定一覧（南市民ホール）

【相模原市立市民会館条例】

（利用料金）

第6条 会館の利用の承認を受けた者（以下「利用者」という。）は、第16条の規定により会館の管理を行うもの（以下「指定管理者」という。）に対し、会館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を納付しなければならない。

2 利用料金は、相模原市民会館にあつては別表第1に、相模原南市民ホールにあつては別表第2に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。

3 第1項の規定にかかわらず、指定管理者は、規則で定めるところにより、利用料金を減額し、又は免除することができる。

4 利用料金は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。

5 利用料金は、指定管理者の収入とする。

（利用料金の不還付）

第7条 既に納付された利用料金は、還付しないものとする。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

別表第2 （第6条関係）相模原南市民ホール利用料金

（1）ホール利用料金

ア 基本利用料金

区分	1日
	9時～22時
平日	36,400円
土曜日・日曜日・休日	49,400円

備考 平日とは、土曜日、日曜日及び休日（国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう。）以外の日をいう。

イ 加算利用料金

（ア）利用者が、商業宣伝その他これに類する目的のために利用する場合は、基本利用料金に150パーセントを乗じて得た額を加算する。

（イ）（ア）以外の場合で、利用者が入場料等を徴収するときは、基本利用料金に次に定める率を乗じて得た額を加算する。ただし、営利を目的としない利用であつて、入場料等が1,000円以下の場合は、加算しない。

1人当たりの入場料等の最高額	率
1,000円以下	80パーセント

資料7

1,000円超	130パーセント
---------	----------

ウ 舞台のみ利用料金

練習等のため舞台のみを利用する場合の利用料金は、基本利用料金の50パーセントの額とする。

エ 延長等に係る利用料金

延長等に係る利用料金については、別表第1第1号オの規定を準用する。

(2) 楽屋利用料金

室名\区分	1日
	9時～22時
第1楽屋	4,400円
第2楽屋	2,700円

備考 延長等に係る利用料金については、別表第1第1号オの規定を準用する。

(3) 器具等利用料金

種別	単位	利用料金
照明設備	1列又は1台1日	3,300円
音響設備	1本、1台又は1式1日	8,700円
舞台設備	1台又は1式1日	33,900円
持込器具使用電力料	持込器具の表示消費電力1キロワット1日	750円

備考

- 延長等に係る利用料金については、1時間につき、1日の利用料金の10パーセントに相当する額とする。この場合において、延長又は繰上げに係る利用の承認を受けた時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とみなす。
- 持込器具使用電力料の利用料金を算出する基礎となる持込器具の表示消費電力の1キロワット未満の端数は、1キロワットとみなす。

【相模原市立市民会館条例施行規則】

(利用料金の後納)

第5条 条例第6条第4項ただし書の規定により利用料金を後納とすることができる場合は、国又は地方公共団体が利用するときその他指定管理者が特に必要があると認めるときとする。この場合において、利用者は指定管理者が指定する期限までに利用料金を納付しなければならない。

(利用料金の減免)

第12条 条例第6条第3項の規定による利用料金の減免は、入場料その他これに類する料金を徴収しない場合であつて、次の各号に掲げるときに、当該各号に定める率により行う。

- (1) 指定管理者が条例第21条の規定により行う同条第7号の事業のために利用するとき。 100パーセント
- (2) 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項の規定により利用料金の減免を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に減免の申請をするものとする。

(利用料金の還付)

第13条 条例第7条ただし書の規定による既納利用料金の還付は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

- (1) 災害その他利用者の責めによらない理由により利用することができなくなつたとき。 既納利用料金の100パーセント
- (2) 利用日の180日前までに相模原市民会館又は相模原南市民ホールのホールの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の80パーセント
- (3) 利用日の60日前までに相模原市民会館又は相模原南市民ホールのホールの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の50パーセント
- (4) 利用日の30日前までに相模原市民会館の会議室等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の80パーセント
- (5) 利用日の7日前までに相模原市民会館の会議室等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の50パーセント
- (6) 附属設備、器具等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 利用料金の100パーセント
- (7) 利用の変更の承認(相模原市民会館のホールの客席数変更(ホールを仕切つて800席未満にすることをいう。))の承認にあつては、利用日の7日前までに申請があつたものに限る。)により、既納利用料金が過納となつたとき。 既納利用料金

のうちの過納額の100パーセント

(8) 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項第2号から第5号まで及び第7号に規定する期限の末日が、休館日に当たるときは、その直後の開館日を当該期限の末日とする。

3 第1項の規定により既納利用料金の還付を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。

利用料金・減免規定一覧（小田急相模原駅文化交流プラザ）

【相模原市立小田急相模原駅文化交流プラザ条例】

（利用料金）

第8条 第6条第1項の規定により利用の承認を受けたもの（以下「利用者」という。）は、第18条の規定により文化交流プラザの管理を行うもの（以下「指定管理者」という。）に対し、文化交流プラザの利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を納付しなければならない。

2 利用料金は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。

3 利用料金は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。

4 利用料金は、指定管理者の収入とする。

（利用料金の減免）

第9条 前条第1項の規定にかかわらず、指定管理者は、規則で定めるところにより、利用料金を減額し、又は免除することができる。

（利用料金の不還付）

第10条 既に納付された利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

別表（第8条関係）

1 施設利用料金

（1）基本利用料金

施設 \ 利用区分		1 日（午前 9 時から午後10時まで）
多目的ルーム	平日	22,600円
	土曜日	28,000円
	日曜日	
	休日	
ミーティングルーム 1		2,900円
ミーティングルーム 2		

備考

- 1 平日とは、土曜日、日曜日及び休日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。）以外の日をいう。
- 2 多目的ルームを3分の1又は3分の2に区切って利用する場合の基本利用料金は、当該利用に対応する全室利用の基本利用料金にそれぞれ3分の1又は3分

の2を乗じて得た額とする。

(2) 加算利用料金

ア 利用者が入場料その他これに類する料金（以下「入場料等」という。）を徴収する場合は、基本利用料金に次の表に定める率を乗じて得た額を加算する。ただし、営利を目的としない利用であって、入場料等が1,000円以下の場合は、加算しない。

1人当たりの入場料等の最高額	率
2,000円未満	20パーセント
2,000円以上3,000円未満	40パーセント
3,000円以上5,000円未満	60パーセント
5,000円以上	100パーセント

イ 利用者が商業宣伝その他これに類する目的のために利用する場合は、基本利用料金に150パーセントを乗じて得た額を加算する。この場合において、入場料等を徴収する場合であっても、アの規定は適用しない。

(3) 延長等に係る利用料金

利用の承認を受けた時間の延長又は繰上げの承認を得て利用する場合の当該延長又は繰上げに係る利用料金（以下「延長等に係る利用料金」という。）は、1時間につき、当該利用に係る1日の基本利用料金の額（ただし、加算利用料金の加算がある場合には、これを加算した額）に10パーセントを乗じて得た額とする。この場合において、延長又は繰上げに係る利用の承認を受けた時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とみなす。

2 器具等利用料金

器具等名	単位	1日の利用料金	備考
電子ピアノ	1台	1,500円	椅子1脚付き
プロジェクター	1台	3,000円	
バレエ用シート	1式	4,500円	接着テープ別
音響ワゴン	1台	3,000円	カセットデッキ、CDプレーヤー、MDデッキ

備考 延長等に係る利用料金については、前項第3号の規定を準用する。

【相模原市立小田急相模原駅文化交流プラザ条例施行規則】

（利用料金の後納）

第7条 条例第8条第3項ただし書の規定により利用料金を後納とすることができる場合は、国又は地方公共団体が利用するときその他指定管理者が特に必要があると認めるときとする。この場合において、利用者は指定管理者が指定する期限までに利用料金を納付しなければならない。

（利用料金の減免）

第11条 条例第9条の規定による利用料金の減免は、入場料その他これに類する料金を徴収しない場合であって、次の各号に掲げるときに、当該各号に定める率により行う。

（1） 指定管理者が条例第23条の規定により行う同条第7号の事業のために利用するとき。 100パーセント

（2） 指定管理者が特に必要があると認め、市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項の規定により利用料金の減免を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に減免の申請をするものとする。

（利用料金の還付）

第12条 条例第10条ただし書の規定による既納利用料金の還付は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

（1） 災害その他利用者の責めによらない理由により利用することができなくなったとき。 既納利用料金の100パーセント

（2） 利用日の30日前までに多目的ルーム、ミーティングルーム1又はミーティングルーム2の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の80パーセント

（3） 利用日の7日前までに多目的ルーム、ミーティングルーム1又はミーティングルーム2の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の50パーセント

（4） 器具等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の100パーセント

（5） 第8条の規定による承認事項変更の承認により、既納利用料金が過納となったとき。 既納利用料金のうち過納額の100パーセント

（6） 指定管理者が特に必要があると認め、市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項第2号及び第3号に規定する期限の末日が、休館日に当たるときは、その直後の開館日を当該期限の末日とする。

3 第1項の規定により既納利用料金の還付を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。

利用料金・減免規定一覧（市民会館）

【相模原市立市民会館条例】

（利用料金）

第6条 会館の利用の承認を受けた者（以下「利用者」という。）は、第16条の規定により会館の管理を行うもの（以下「指定管理者」という。）に対し、会館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を納付しなければならない。

2 利用料金は、相模原市民会館にあつては別表第1に、相模原南市民ホールにあつては別表第2に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。

3 第1項の規定にかかわらず、指定管理者は、規則で定めるところにより、利用料金を減額し、又は免除することができる。

4 利用料金は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。

5 利用料金は、指定管理者の収入とする。

（利用料金の不還付）

第7条 既に納付された利用料金は、還付しないものとする。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

別表第1（第6条関係）相模原市民会館利用料金

（1）ホール利用料金

ア 基本利用料金

区分	1日
	9時～22時
平日	111,800円
土曜日・日曜日・休日	146,900円

備考 平日とは、土曜日、日曜日及び休日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。）以外の日をいう。

イ 加算利用料金

（ア）利用者が、商業宣伝その他これに類する目的のために利用する場合は、基本利用料金に150パーセントを乗じて得た額を加算する。

（イ）（ア）以外の場合で、利用者が、入場料その他これに類する料金（以下「入場料等」という。）を徴収するときは、基本利用料金に次に定める率を乗じて得た額を加算する。ただし、営利を目的としない利用であつて、入場料等が1,000円以下の場合は、加算しない。

資料7

1人当たりの入場料等の最高額	率
1,000円以下	80パーセント
1,000円を超え3,000円以下	130パーセント
3,000円超	150パーセント

ウ 小ホール利用料金

ホールを仕切つて、小ホール（収容800人未満）として利用する場合の利用料金は、基本利用料金（イに該当する場合は、当該加算利用料金との合算額）の80パーセントの額とする。

エ 舞台のみ利用料金

練習等のため舞台のみを利用する場合の利用料金は、基本利用料金の50パーセントの額とする。

オ 延長等に係る利用料金

利用の承認を受けた時間の延長又は繰上げの承認を得て利用する場合の当該延長又は繰上げに係る利用料金（以下「延長等に係る利用料金」という。）は、1時間につき、当該利用に係る1日の基本利用料金の額（ただし、加算利用料金の加算がある場合には、これを加算した額）に10パーセントを乗じて得た額とする。この場合において、延長又は繰上げに係る利用の承認を受けた時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とみなす。

(2) 会議室等利用料金

ア 基本利用料金

室名\区分	1日
	9時～22時
第1大会議室	17,600円
第1中会議室	5,800円
第2大会議室	8,800円
第2中会議室	5,800円
第2小会議室	2,900円
第3小会議室	2,300円
講習室	4,600円
第3中会議室	5,200円
第4小会議室	1,600円
第5小会議室	1,000円
第6小会議室	1,000円
あじさいの間	22,300円

資料7

けやきの間	11,500円
ひばりの間	7,900円

イ 加算利用料金

(ア) 利用者が、商業宣伝その他これに類する目的のために利用する場合は、基本利用料金に150パーセントを乗じて得た額を加算する。

(イ) (ア)以外の場合で、利用者が、入場料等を徴収するときは、基本利用料金に次に定める率を乗じて得た額を加算する。ただし、営利を目的としない利用であつて、入場料等が1,000円以下の場合は、加算しない。

1人当たりの入場料等の最高額	率
2,000円未満	20パーセント
2,000円以上3,000円未満	40パーセント
3,000円以上5,000円未満	60パーセント
5,000円以上	100パーセント

(ウ) 結婚披露宴その他これに類するものに利用する場合は、基本利用料金に50パーセントを乗じて得た額を加算する。ただし、あじさいの間、けやきの間及びひばりの間を除く。

ウ 延長等に係る利用料金

延長等に係る利用料金については、前号オの規定を準用する。

(3) 楽屋利用料金

室名\区分	1日
	9時～22時
第1楽屋・第2楽屋1室につき	2,500円
第3楽屋～第5楽屋1室につき	3,900円

備考 延長等に係る利用料金については、第1号オの規定を準用する。

(4) 器具等利用料金

種別	単位	利用料金
照明設備	1列、1本、1台又は1式1日	6,900円
音響設備	1本、1台又は1式1日	10,200円
舞台設備	1台又は1式1日	33,900円
持込器具使用電力料	持込器具の表示消費電力1キロワット1日	750円

備考

1 延長等に係る利用料金については、1時間につき、1日の利用料金の10パーセ

ントに相当する額とする。この場合において、延長又は繰上げに係る利用の承認を受けた時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とみなす。

- 2 持込器具使用電力料の利用料金を算出する基礎となる持込器具の表示消費電力の1キロワット未満の端数は、1キロワットとみなす。

【相模原市立市民会館条例施行規則】

（利用料金の後納）

第5条 条例第6条第4項ただし書の規定により利用料金を後納とすることができる場合は、国又は地方公共団体が利用するときその他指定管理者が特に必要があると認めるときとする。この場合において、利用者は、指定管理者が指定する期限までに利用料金を納付しなければならない。

（利用料金の減免）

第12条 条例第6条第3項の規定による利用料金の減免は、入場料その他これに類する料金を徴収しない場合であつて、次の各号に掲げるときに、当該各号に定める率により行う。

- （1） 指定管理者が条例第21条の規定により行う同条第7号の事業のために利用するとき。 100パーセント
- （2） 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項の規定により利用料金の減免を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に減免の申請をするものとする。

（利用料金の還付）

第13条 条例第7条ただし書の規定による既納利用料金の還付は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

- （1） 災害その他利用者の責めによらない理由により利用することができなくなつたとき。 既納利用料金の100パーセント
- （2） 利用日の180日前までに相模原市民会館又は相模原南市民ホールのホールの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の80パーセント
- （3） 利用日の60日前までに相模原市民会館又は相模原南市民ホールのホールの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の50パーセント
- （4） 利用日の30日前までに相模原市民会館の会議室等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の80パーセント
- （5） 利用日の7日前までに相模原市民会館の会議室等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の50パーセント
- （6） 附属設備、器具等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 利用料金の100パーセント
- （7） 利用の変更の承認（相模原市民会館のホールの客席数変更（ホールを仕切つて800席未満にすることをいう。）の承認にあつては、利用日の7日前までに申請が

あつたものに限る。)により、既納利用料金が過納となつたとき。 既納利用料金のうちの過納額の100パーセント

(8) 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

- 2 前項第2号から第5号まで及び第7号に規定する期限の末日が、休館日に当たるときは、その直後の開館日を当該期限の末日とする。
- 3 第1項の規定により既納利用料金の還付を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。

利用料金・減免規定一覧（杜のホールはしもと）

【相模原市立杜のホールはしもと条例】

（利用料金）

第7条 杜（もり）のホールの利用の承認を受けた者（以下「利用者」という。）は、第17条の規定により杜（もり）のホールの管理を行うもの（以下「指定管理者」という。）に対し、杜（もり）のホールの利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を納付しなければならない。

2 利用料金は、別表第1及び別表第2に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。

3 利用料金は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。

4 利用料金は、指定管理者の収入とする。

（利用料金の減免）

第8条 前条第1項の規定にかかわらず、指定管理者は、規則で定めるところにより、利用料金を減額し、又は免除することができる。

（利用料金の不還付）

第9条 既に納付された利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

別表第1（第7条関係）

施設利用料金

1 基本利用料金

施設\利用区分		1日 (9時～22時)
ホール	平日	104,000円
	土曜日	139,100円
	日曜日	
	休日	
多目的室	平日	23,400円
	土曜日	31,200円
	日曜日	
	休日	
練習室1		4,400円
練習室2		7,100円
練習室3		4,400円

資料7

音楽スタジオ	7,100円
セミナールーム 1	3,600円
セミナールーム 2	5,900円

備考 平日とは、土曜日、日曜日及び休日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。）以外の日をいう。

2 加算利用料金

（1）利用者が入場料その他これに類する料金（以下「入場料等」という。）を徴収する場合は、基本利用料金に次の表に定める率を乗じて得た額を加算する。ただし、営利を目的としない利用であって、入場料等が1,000円以下の場合は、加算しない。

1人当たりの入場料等の最高額	率
2,000円未満	20パーセント
2,000円以上3,000円未満	40パーセント
3,000円以上5,000円未満	60パーセント
5,000円以上	100パーセント

（2）利用者が、商業宣伝その他これに類する目的のために利用する場合は、基本利用料金に150パーセントを乗じて得た額を加算する。この場合において、入場料等を徴収する場合であっても、（1）の規定は適用しない。

3 舞台のみ利用料金

催し等の準備のため、ホールの舞台のみを利用する場合の利用料金は、基本利用料金の50パーセントに相当する額とする。

4 延長等に係る利用料金

利用の承認を受けた時間の延長又は繰上げの承認を得て利用する場合の当該延長又は繰上げに係る利用料金（以下「延長等に係る利用料金」という。）は、1時間につき、当該利用に係る1日の基本利用料金の額（ただし、加算利用料金の加算がある場合には、これを加算した額）に10パーセントを乗じて得た額とする。この場合において、延長又は繰上げに係る利用の承認を受けた時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とみなす。

別表第2（第7条関係）

1 附属設備利用料金

区分		1日 (9時～22時)
ホール	楽屋 1	5,500円

資料7

多目的室	楽屋 2	6,600円
	楽屋 3	6,600円
	控室	1,900円
	楽屋 A	1,900円
	楽屋 B	5,500円

備考 延長等に係る利用料金については、別表第 1 第 4 項の規定を準用する。

2 器具等利用料金

(1) ホール器具等利用料金

種別	単位	利用料金
舞台設備	1 台又は 1 式 1 日	44,100円
照明設備	1 本、1 台又は 1 式 1 日	6,900円
音響設備	1 台、1 本又は 1 式 1 日	10,200円
持込器具使用電力料	持込器具の表示消費電力 1 キロワット 1 日	750円

備考

- 1 延長等に係る利用料金については、別表第 1 第 4 項の規定を準用する。
- 2 持込器具使用電力料の利用料金を算出する基礎となる持込器具の表示消費電力の 1 キロワット未満の端数は、1 キロワットとみなす。

(2) 多目的室器具等利用料金

種別	単位	利用料金
舞台設備	1 台、1 本又は 1 式 1 日	15,300円
照明設備	1 台 1 日	1,500円
音響設備	1 台、1 本又は 1 式 1 日	10,200円
持込器具使用電力料	持込器具の表示消費電力 1 キロワット 1 日	750円

備考 延長等に係る利用料金については別表第 1 第 4 項の規定を、持込器具使用電力料の利用料金の算出については前号の表備考 2 の規定を準用する。

(3) 練習室器具等利用料金

器具等名	単位	1 日の利用料金	備考
ピアノ	1 台	3,000円	調律料別、椅子 1 脚付き
バレエ用シート	1 式	4,500円	接着テープ別
音響ワゴン	1 台	3,000円	カセットデッキ、C D プレーヤー、M D デッキ

資料7

マイク	1 本	3,300円	
-----	-----	--------	--

備考 延長等に係る利用料金については、別表第1第4項の規定を準用する。

(4) 音楽スタジオ器具等利用料金

器具等名	単位	1日の利用料金	備考
ピアノ	1 台	3,000円	調律料別、椅子1脚付き
音響ワゴン	1 組	6,900円	カセットデッキ、CDプレーヤー、MDデッキ、マイク3本付き
ギターアンプ	1 台	900円	
ベースアンプ	1 台	900円	
ドラムセット	1 台	1,200円	
シンセサイザー	1 台	900円	
マイク	1 本	3,300円	

備考 延長等に係る利用料金については、別表第1第4項の規定を準用する。

(5) その他器具等利用料金

器具等名	単位	1日の利用料金	備考
マルチプロジェクター(大)	1 台	9,000円	
マルチプロジェクター(小)	1 台	3,300円	
移動用スクリーン	1 式	3,300円	幅1.6m×高1.2m

備考 延長等に係る利用料金については、別表第1第4項の規定を準用する。

【相模原市立杜のホールはしもと条例施行規則】**（利用料金の後納）**

第7条 条例第7条第3項ただし書の規定により利用料金を後納とすることができる場合は、国又は地方公共団体が利用するときその他指定管理者が特に必要があると認めるときとする。この場合において、利用者は指定管理者が指定する期限までに利用料金を納付しなければならない。

（利用料金の減免）

第13条 条例第8条の規定による利用料金の減免は、入場料その他これに類する料金を徴収しない場合であって、次の各号に掲げるときに、当該各号に定める率により行う。

（1） 指定管理者が条例第22条の規定により行う同条第7号の事業のために利用するとき。 100パーセント

（2） 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 条例別表第1第2項第1号ただし書に規定する加算利用料金を加算しない利用は、営利を目的としない文化活動団体その他これに類する団体が利用する場合で、入場料その他これに類する料金が1,000円以下の場合とする。

3 第1項の規定により利用料金の減免を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に減免の申請をするものとする。

（利用料金の還付）

第14条 条例第9条ただし書の規定による既納利用料金の還付は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

（1） 災害その他利用者の責めによらない理由により利用することができなくなったとき。 既納利用料金の100パーセント

（2） 利用日の180日前までにホール又は多目的室の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の80パーセント

（3） 利用日の60日前までにホール又は多目的室の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の50パーセント

（4） 利用日の30日前までに練習室、音楽スタジオ又はセミナールームの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の80パーセント

（5） 利用日の7日前までに練習室、音楽スタジオ又はセミナールームの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の50パーセント

（6） 附属設備、器具等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の100パーセント

（7） 第10条の規定による承認事項変更の承認により、既納利用料金が過納となったとき。 既納利用料金のうち過納額の100パーセント

（8） 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。 市長の

承認を得て指定管理者が定める率

- 2 前項第2号から第5号までに規定する期限の末日が、休館日に当たるときは、その直後の開館日を当該期限の末日とする。
- 3 第1項の規定により既納利用料金の還付を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。

利用料金・減免規定一覧（城山文化ホール）

【相模原市立城山文化ホール条例】

（利用料金）

第8条 文化ホールの利用の承認を受けたもの(第3条第3号に掲げるギャラリーの利用の承認を受けたものを除く。)は、第18条の規定により文化ホールの管理を行うもの(以下「指定管理者」という。)に対し、その利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納付しなければならない。

2 利用料金は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。

3 利用料金は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。

4 利用料金は、指定管理者の収入とする。

（利用料金の減免）

第9条 前条第1項の規定にかかわらず、指定管理者は、規則で定めるところにより、利用料金を減額し、又は免除することができる。

（利用料金の不還付）

第10条 既に納付された利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

別表(第8条関係)

1 施設利用料金

(1) 基本利用料金

区分		1日(午前9時から午後10時まで)
多目的ホール	平日	24,400円
	土曜日	31,700円
	日曜日	
	休日	
リハーサル室		3,700円

備考 平日とは、土曜日、日曜日及び休日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日をいう。)以外の日をいう。

(2) 加算利用料金

ア 利用者が入場料その他これに類する料金(以下「入場料等」という。)を徴収する場合は、基本利用料金に次の表に定める率を乗じて得た額を加算する。ただし、営利を目的としない利用であって、入場料等が1,000円以下の場合は、加算しない。

1人当たりの入場料等の最高額	率
2,000円未満	20パーセント
2,000円以上3,000円未満	40パーセント

3,000円以上5,000円未満	60パーセント
5,000円以上	100パーセント

イ 利用者が商業宣伝その他これに類する目的のために利用する場合は、基本利用料金に150パーセントを乗じて得た額を加算する。この場合において、入場料等を徴収する場合であっても、アの規定は適用しない。

(3) 舞台のみ利用料金

練習等のため、多目的ホールの舞台のみを利用する場合の利用料金は、基本利用料金の50パーセントに相当する額とする。

(4) 延長等に係る利用料金

利用の承認を受けた時間の延長又は繰上げの承認を得て利用する場合の当該延長又は繰上げに係る利用料金(以下「延長等に係る利用料金」という。)は、1時間につき、当該利用に係る1日の基本利用料金の額(ただし、加算利用料金の加算がある場合には、これを加算した額)に10パーセントを乗じて得た額とする。この場合において、延長又は繰上げに係る利用の承認を受けた時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とみなす。

2 附属設備利用料金

区分	1日(午前9時から午後10時まで)
楽屋1	1,100円
楽屋2	1,500円

備考 延長等に係る利用料金については、前項第4号の規定を準用する。

3 器具等利用料金

種別	単位	利用料金
照明設備	1列又は1台1日	3,300円
音響設備	1本、1台又は1式1日	8,700円
舞台設備	1台又は1式1日	9,000円
その他器具等	1台又は1式1日	3,300円
持込器具使用電力料	持込器具の表示消費電力1キロワット1日	750円

備考

1 延長等に係る利用料金については、第1項第4号の規定を準用する。

2 持込器具使用電力料の利用料金を算出する基礎となる持込器具の表示消費電力の1キロワット未満の端数は、1キロワットとみなす。

【相模原市立城山文化ホール条例施行規則】

(利用料金の後納)

第7条 条例第8条第3項ただし書の規定により利用料金を後納とすることができる場合は、国又は地方公共団体が利用するときその他指定管理者が特に必要があると認めるときとする。この場合において、利用者は指定管理者が指定する期限までに利用料金を納付しなければならない。

(利用料金の減免)

第11条 条例第9条の規定による利用料金の減免は、入場料その他これに類する料金を徴収しない場合であって、次の各号に掲げるときに、当該各号に定める率により行う。

(1) 指定管理者が条例第23条の規定により行う同条第7号の事業のために利用するとき。

100パーセント

(2) 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項第2号の規定により利用料金の減免を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に減免の申請をするものとする。

(利用料金の還付)

第12条 条例第10条ただし書の規定による既納利用料金の還付は、次の各号に掲げるときに、当該各号に定める率により行う。

(1) 災害その他利用者の責めによらない理由により利用することができなくなったとき。

既納利用料金の100パーセント

(2) 利用日の180日前までに多目的ホールの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。既納利用料金の80パーセント

(3) 利用日の60日前までに多目的ホールの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。既納利用料金の50パーセント

(4) 利用日の30日前までにリハーサル室の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。既納利用料金の80パーセント

(5) 利用日の7日前までにリハーサル室の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。既納利用料金の50パーセント

(6) 附属設備及び器具等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。既納利用料金の100パーセント

(7) 第8条の規定による承認事項変更の承認により、既納利用料金が過納となったとき。既納利用料金のうち過納額の100パーセント

(8) 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項第2号から第5号に規定する期限の末日が、休館日に当たるときは、その直後の開館日を当該期限の末日とする。

3 第1項の規定により既納利用料金の還付を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。